

ここまでわかった！ 作山古墳

於 岡山市埋蔵文化財センター

2014年7月19日(土)

総社市埋蔵文化財学習の館
平井典子

ここまでわかった！作山古墳

作山古墳とその特徴

残丘の存在・前方部の形状・後円部の形状・小造り出しの存在
後円部を取り巻く段(作山段)・周濠の有無など

吉備の巨大古墳とその被葬者

倭の大王？ 吉備の大首長？ 吉備の豪族？

巨大古墳を築造した吉備の原動力

作山古墳空撮(東北から)



作山段上の埴輪列

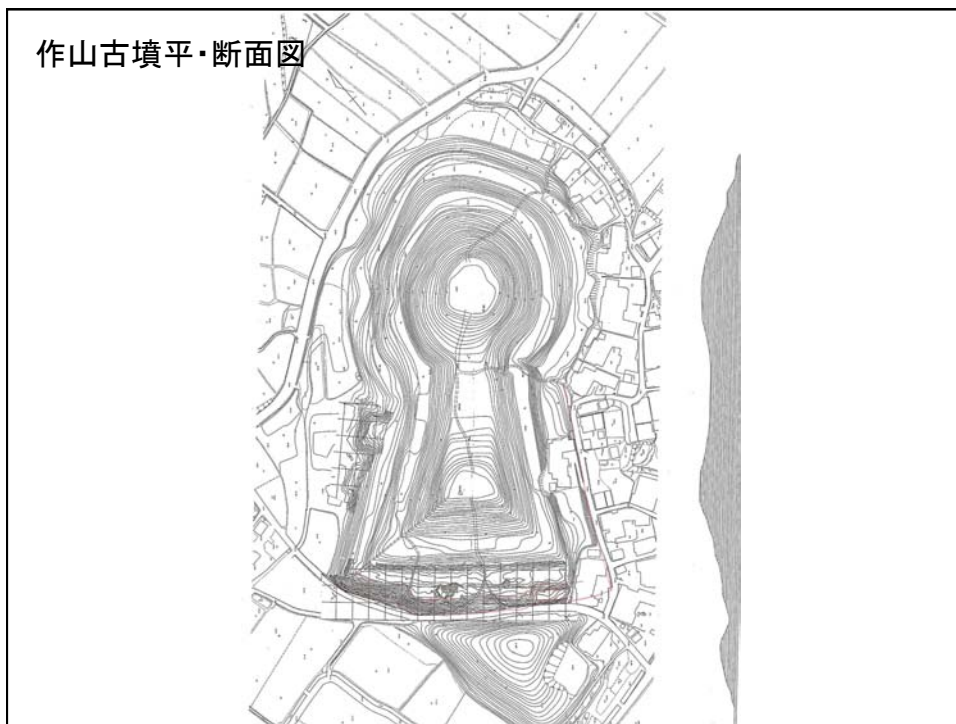


出土地位置図



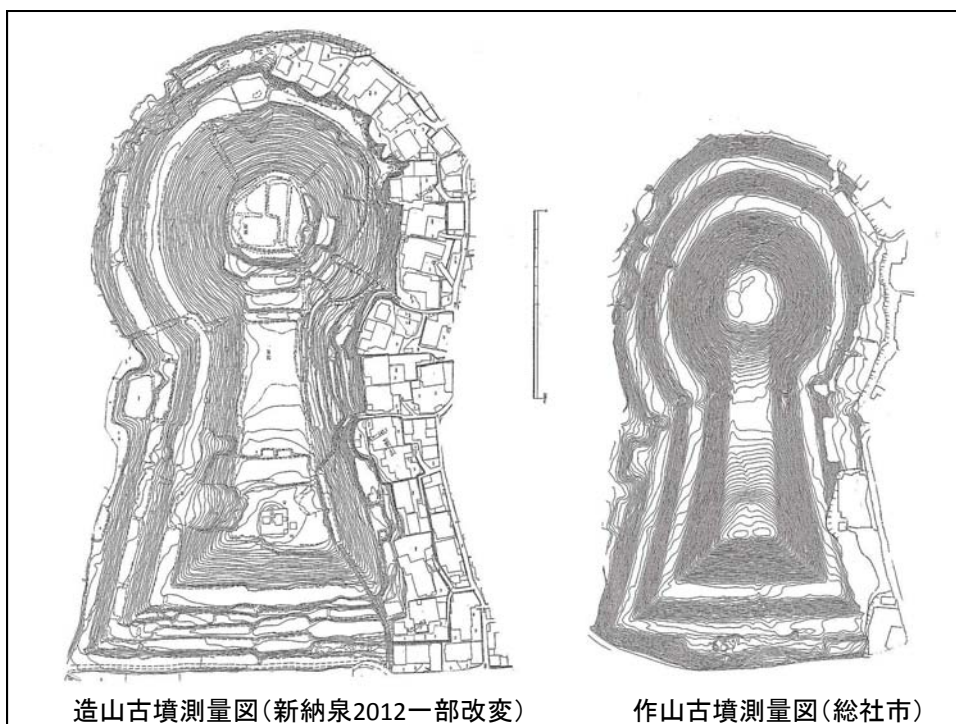
埴輪出土状況(前方部側から)

作山古墳平・断面図

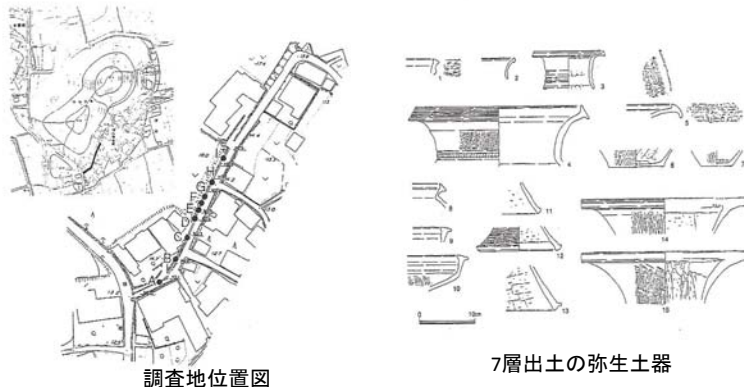


造山古墳測量図(新納泉2012一部改変)

作山古墳測量図(総社市)



作山下水路改良工事に伴う立会調査



調査地位置図

7層出土の弥生土器



- 1. 道路造成土
- 2. 橙灰色
- 3. 橙褐色土
- 4. 暗灰褐色土
- 5. 灰茶色土
- 6. 暗灰褐色土
- 7. 暗黒灰色土 (弥生中期包含層)
- 8. 黒灰色土

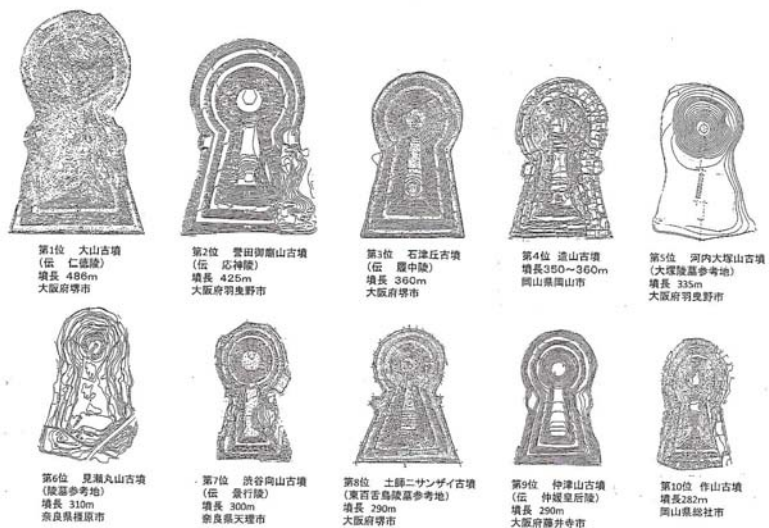
各調査地点の 土層模式図

造山古墳とその周辺



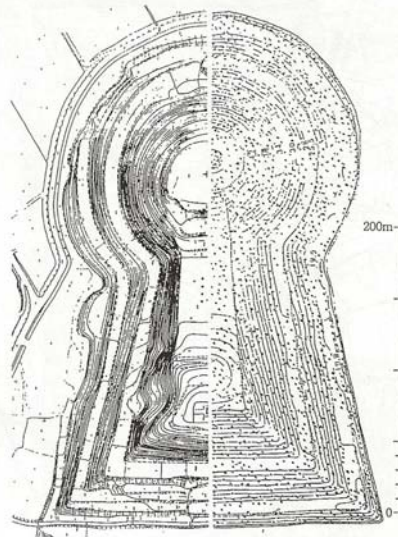
(安川満 2000『造山第2号古墳』より)

全国の巨大古墳



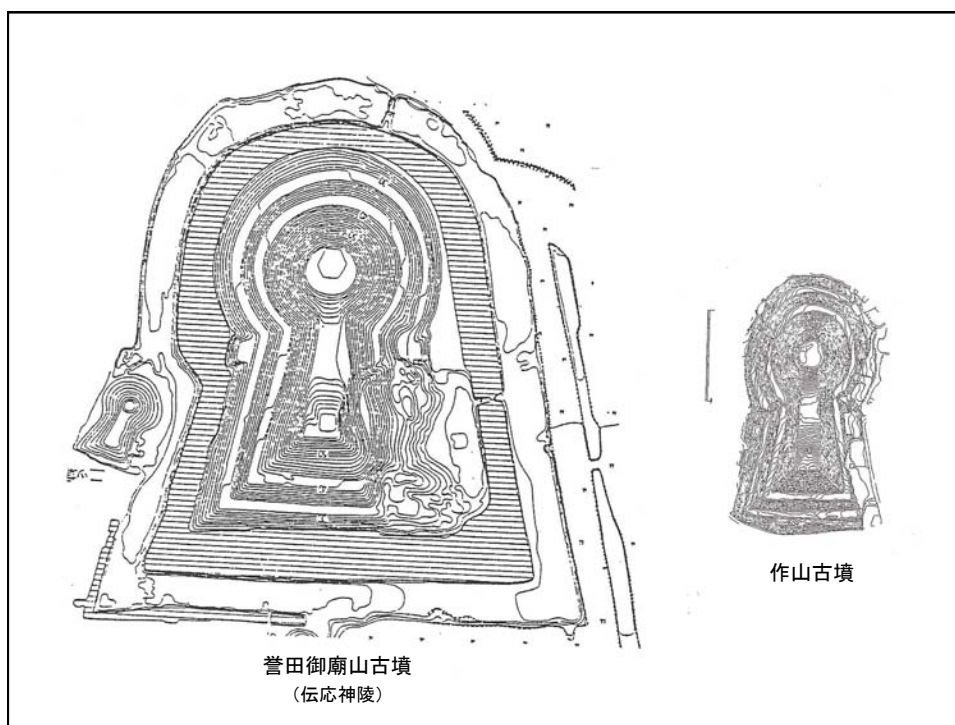
※作山古墳以外は『前方後円墳集成』の墳長値を使用

造山古墳 石津丘古墳



造山古墳(吉備)と石津丘古墳(河内)

白石太一郎2007『近畿の古墳と古代史』より



菅田御廟山古墳
(伝応神陵)

作山古墳

倭の五王の時代 宋への遣使(『宋書』より)

- 421年 倭王讃 除授をうける。
 425年 倭王讃 司馬曹達を派遣し入貢。
 430年 倭王讃 遣使
 438年 倭王珍(讃の弟) 「使持節都督倭・百濟・新羅・任那・秦韓・慕韓・六国諸軍事・安東大將軍・倭国王」と称して正式な任命を求めるが、安東將軍・倭国王に任じられる。また臣下の倭隋ら13人に平西・征虜・冠軍・輔国の將軍号を求め、認められる。
 443年 倭王済 「安東將軍・倭国王」を授かる。
 451年 倭王済 「使持節都督倭・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓六国諸軍事、安東將軍」に除せられる。配下の23人も申請した將軍号と郡太守号を授かる。7月には安東大將軍に進号される。
 477年 倭国王武 遣使
 478年 倭国王武 「使持節都督倭・百濟・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓七国諸軍事・安東大將軍」とともに463年に高句麗王に認められた「開府儀同三司」の称号を求めるが、宋は「百濟」と「開府儀同三司」は認めなかった。

その後、600年に隋に遣使するまで、中国王朝に使者を送ることはなかった。

両宮山古墳とその周辺



岡山県赤磐市

吉備の反乱伝承

『日本書紀』

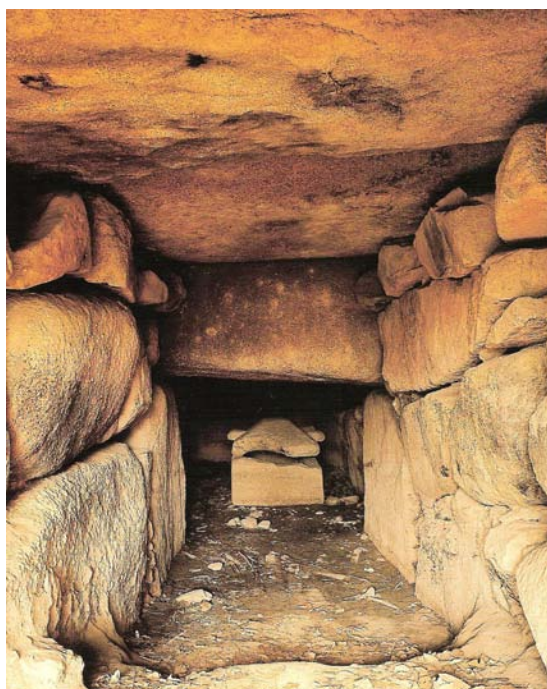
- 雄略天皇七年八月条
下道臣 前津屋の反乱
- 雄略天皇七年是歳条
上道臣 田狭の反乱
- 清寧天皇即位前紀条(雄略天皇二十三年)
星川皇子の反乱

こつもり塚古墳 航空写真



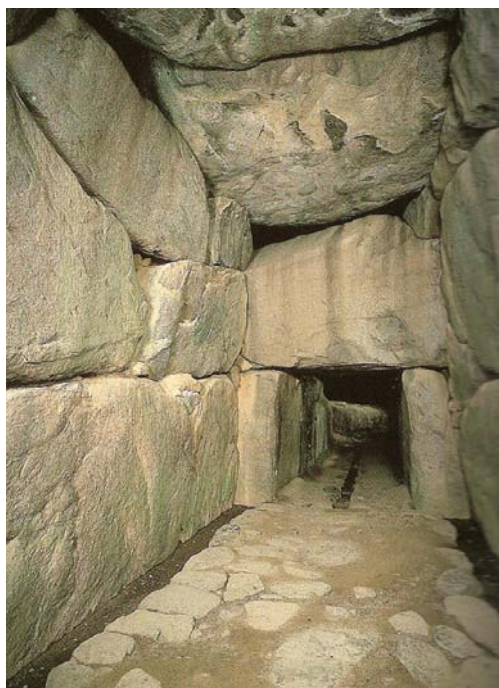
総社市

こつもり塚古墳 横穴式石室 (6世紀後半)



総社市上林

石舞台古墳 横穴式石室



奈良県

集落内の鍛冶工房 窪木薬師遺跡:総社市



輸入された鉄の素材



鍛冶炉



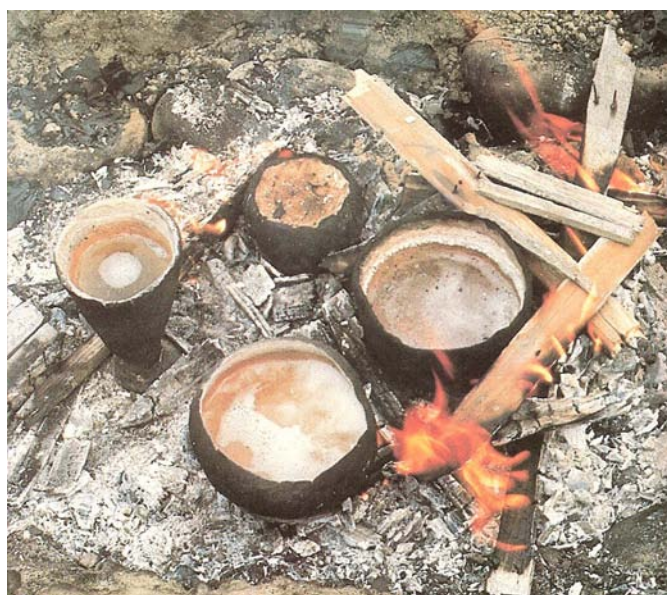
炭窯

最古級の製鉄炉



千引カナク口谷製鉄遺跡(総社市)

吉備の塩生産 土器による塩作りの実験



製塩土器による塩生産

製塩土器の変化

阿津走出遺跡：倉敷市

柳瀬明彦(1997)

